

「フライミクス」新本社完成

関係者ら100人祝う

淡路市

淡路市が誘致した大「職の創造ゾーン」に、阪市の機械メーカー「フライミクス」の淡路島新本社「写真上」が完成し、竣工式が3日、同市夢舞台であった。同社社員と工事関係者ら約100人が出席し、社屋の完成を祝った。(3面参照)

化粧品や食品、医薬品などをつくる乳化分散機を製造する同社は、市が整備する花博跡地に本社と工場を移転する。約3・8畧の

施設を併設する。17日から島内で雇用した約20人を含む約130人で業務を開始する。式では、玉串奉納などの神事で工事の無事を感謝。施設の見学会も開かれた。

古市尚社長は「自然が豊かで、都市から近く物流もスムーズ。遊びの中に会社があるような、これからのライフスタイルに合った社屋ができた」と話していた。

(内田世紀)



「遊びの中に会社がある」とコンセプトを説明する古市尚社長。食堂がある2階とオフィスのある1階の間にはすべり台を設置した「フライミクスのオフィス棟」

(27面)

淡路に本社移転 優遇措置初適用

大阪の機械メーカー

兵庫県は3日、大阪市などから淡路市に本社と工場を移転する機械メーカー「フライミクス」に、法人税の減免など優遇措置すると発表した。本年度に設けた「本社機能立地支援制度」の適用第1号となる。

同社は1949年設

立で、化粧品や医薬品などをつくる機械メーカーが主力。社員数は223人で約130人が淡路市で働く予定。大阪市と埼玉県の工場が手狭となり、淡路市の工業団地に3・8畧を取得した。17日から生産を始める。県は法人事業税を5年にわたり2分の1減免し、設備投資額の7%を補助するほか、雇用面でも支援する。

(桑名良典)

(3面)

2015年8月4日付
神戸新聞 朝刊